

はびきの市民大学 公開講座

日本古代史の舞台、羽曳野

古代の陵墓や古社寺、古道が今も身近に存在するまち、羽曳野。古代の羽曳野に関わる出来事や人物、伝承の記事は、いくつかの歴史書にも書き記されています。日本、そして東アジアの大きな歴史の流れにもつながる古代の羽曳野の史料や文物を題材に、歴史のまちの魅力を再発見する講座です。

受講料

二、五〇〇円（全五回）

好きな回を選んで申し込む場合、一回 八〇〇円

第1講義

2025 2/9(日) 10:30 ~ 12:00

聖徳太子の弟、来目皇子（くめのみこ）が眠る岡「河内の埴生の岡の上に葬る」『日本書紀』
元 羽曳野市文化財 世界遺産担当職員 高野学

第4講義

2025 3/1(土) 10:30 ~ 12:00

古代の元号 - 古市の亀が告げた天平時代の幕開け - 「その亀を獲（え）たる人、河内の古市の人 賀茂子虫」『続日本紀』
奈良大学 名誉教授・日本学士院会員 東野治之

第2講義

2025 2/15(土) 10:30 ~ 12:00

丹比の王と王宮 - 河内の丹比に都つくる - 「多治比（たじひ）の柴垣宮（しばかきのみや）にましまして、天の下しらしめしき」『古事記』
神戸大学大学院人文学研究科 教授 古市晃

第5講義

2025 3/8(土) 10:30 ~ 12:00

西琳寺の鴟尾 - 古代の屋根を飾った最先端技術 - 「蓋上に東西金銅沓形（くつがた）、おのおの金銅の鳳形を重ね立て、おのおの銅鐸を咋（か）む」『西大寺流記資材帳』
奈良大学文学部 教授 岩戸晶子

第3講義

2025 2/22(土) 10:30 ~ 12:00

行基の先駆者、道照和尚「三蔵、特に愛でて、同じ坊に住ましむ」『続日本紀』
大阪府立近つ飛鳥博物館 館長・奈良女子大学 名誉教授 館野和己

会 場

LIC はびきの3階 視聴覚室

申込期間

11月24日（日）～2025年2月7日（金）
好きな回を選んで申し込む場合、1月26日（日）～
※全5回まとめた申込優先

定 員

各60人 ※先着順

申込方法

来館・電話・FAX

支払方法

来館・銀行振込 ※申込に来館された場合、お支払いは同時に行ってください。事務局が案内する期日内に、受講料をお支払いください。一旦納付された受講料は返金できません。

はびきの市民大学

〒583-0854 羽曳野市軽里 1-1-1（LIC はびきの内） 主催／羽曳野市
【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650
1階受付 9時00分～17時30分 ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。※情勢により、感染予防対策をお願いする場合がございます。

- ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に管理いたします。また、株式会社みのりの里「個人情報保護方針」のもと適切な取り扱いを致します。
- ご提出いただきました個人情報は、はびきの市民大学事務局が主催する講座の運営、受講生募集を行う目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご提出いただきました個人情報は、次の場合を除き、ご本人の同意なしに第三者に提供することはありません。

(1) 講座実施にあたり、講座を担当する講師または講座委託会社に受講者のお名前、年代、性別、受講履歴を提供すること。(2) 公的機関からの法令に基づく照会を受けた場合。

